

I 日本史B問題

A

(1) 丹波	(2) 藤原陳忠
(3) 清涼殿	(4) 『御堂関白記』
(5) 平等院	(6) ②・③
(7) 刀伊の入寇	

B

(8) 赤松満祐	(9) 夢窓疎石
(10) 明德の乱	
(11) (あ) 足利義持	(い) 上杉氏憲（禅秀）
(12) 洛中以外における土一揆の鎮圧	

C

(13) ハリマン計画	(14) 国際連盟
(15) 井上準之助	(16) 極東国際軍事裁判（東京裁判）
(17) 岸信介	(18) 日中共同声明
(19) 村山談話	

Ⅱ 日本史B問題

ア サヌカイト (讃岐石)	イ 丸木
ウ 三角縁神獣	エ 黒塚
オ 熊本	カ 杖刀
キ 飛鳥 (法興)	ク 金堂
ケ 蓮華王院	コ 源義家
サ 按司	シ 首里
ス 岩倉具視	セ 太陽
ソ 久米邦武	タ 植木枝盛
チ 大阪	ツ 25
テ 地租	ト 小磯国昭

Ⅲ 日本史B問題

A

ア 橋諸兄	イ 防人	ウ 房戸
エ 租		
(1) 藤原不比等	(2) 大学	(3) 公出挙
(4) 隼人	(5) 恭仁京	(6) 溝・池などの灌漑施設

B

オ 徳川秀忠	カ 征夷大將軍	キ 禁裏御料
ク 修学院		
(7) 賤ヶ岳の戦い	(8) 淀君	(9) 方広寺
(10) 幕府の許可を得ない婚姻	(11) 明正天皇	(12) 安藤信正

C

ケ 軍事教練	コ 広田弘毅	サ 関東軍特種演習
シ 学徒出陣	ス 国民義勇隊	
(13) 九カ国条約	(14) 宇垣一成	(15) 統帥権の干犯
(16) 溥儀	(17) 企画院	

IV 日本史B問題

(1)

鎌倉幕府が成立すると、御家人が地頭に任じられて荘園領主の下で治安維持や年貢の徴収などを担当し、承久の乱によって地頭の設置範囲は西国にまで拡大した。その後、地頭の非法が激増して荘園領主との対立が深まると、両者の間で地頭請や下地中分が行われ地頭の支配は強化されていった。元寇を機に幕府は本所一円地からの物資徴発権を獲得したが、鎌倉時代末には荘園領主・幕府に抵抗する悪党が台頭して荘園支配は動揺していった。

(200字)

(2)

田沼意次は幕府財政再建のため、運上・冥加の増収をはかり仲間の結成を奨励した。商品経済の進展にともない地方市場が発展するなか、大坂周辺で仲間の独占に反対する国訴が起こると、幕府は仲間の独占を緩和した。天保の改革では物価高騰の原因とみなし仲間を解散させたが、流通混乱を招いたため、後に再興させた。幕末、欧米との貿易開始後、在郷商人が商品を開港場に直送したため、幕府は五品江戸廻送令で仲間の保護をはかった。

(200字)